

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 3 月 24 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470104849 | | |
| 法人名 | 株式会社 ニックス | | |
| 事業所名 | グループホーム かぐや姫 | | |
| 所在地 | 広島市東区尾長2丁目6-6 (電話) 082-209-1158 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年1月29日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104849-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成27年3月20日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

レクリエーションに力を入れ、ご利用者様の笑顔が見られるように、積極的に参加していただいております。又常に相手本位の理念に基づき、相手の気持ちになって支援しております。出来ることはご利用者様にやって頂き、日々の生活を楽しんで生活してもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

2階建ての2階部分を活用した定員16名の建物である。住環境は、木の温もりを感じる設計で、馴染みのある家庭的で過ごしやすい生活空間である。特にレクリエーション（ボール体操、ちぎり絵、カラオケなど）に力をいれており、自社でDVDを作成された”ニックス体操”（30分程度の全身体操）の実施により、利用者の身体機能が維持・継続できる取り組みをされている。また2カ月1回の運営推進会議では家族会を兼ねてイベントをされ、利用者と家族との関わりが持てるよう取り組まれていた。医療に関しても、歯科、眼科、耳鼻科などの訪問診療により、適切な支援（医療）が受けられる体制づくりができています。職員間も話しやすい雰囲気であり、とてもチームワークが良い状況である。利用者の笑顔を増やすためには、まず職員が笑顔に接することが第一と考え、日々心掛けて対応されている。事業所理念「相手本位の心」を基本と捉え、生活上必要な全ての事柄は職員と利用者がともに行い、共に楽しむようにしている。今後、食事の充実や外に出掛ける機会を更に増やしていきたいと考えている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 事業所理念の「相手本位の心」に基づき相手を否定することなく安心して介助させて頂けるように努めています。 | 理念を基に、職員間で話し合い、毎年度、施設課題、「テーマ」を立案し、職員間で共有することで実践に繋げている。また、週1回代表者との話し合いを行い、理念に関しての意識が維持・向上できるようにしている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 毎年、夏祭りを開催し、ボランティアや地域住民の方に参加して頂き、地域との交流を築いています。又、保育園の行事に参加し、広島市内の菊花展等にも参加しています。 | 事業所で夏祭りをを行い、ボランティアや地域の方が訪れている。中学校の職場体験学習の受け入れや近隣の保育園の訪問、近くの公園での運動会へ参加している。気候が良ければ買い物や散歩を通じて、地域の人との交流にも心掛けている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 毎月、町内会に参加し、その時に施設のことやイベントの事等を、発表しています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 実際、評価について意見を述べて頂き、より質の高いサービスを提供出来るように、速やかに対応できるように心掛けています。 | 会議時には、家族会を兼ねてイベントなど行っている。参加者の要望から職員の顔と名前が一致しないとの意見を頂き、写真と名前入りの物を作成中である。参加メンバーが少ない状況もあり、町内会の会合への参加を通じて、協力関係を築く努力をされている。 | 参加者のメンバーが、利用者、家族、地域包括支援センター職員のみ状況である。複数のメンバーから素直な意見を頂き、サービスの質の向上という目的もあり、次のステップとして、不参加者へ会議録の送付や顔を合わす努力などを行い、今後、一人でも多くのメンバーを増やす取組みを望みます。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 広島市への運営推進会議等の報告、地域包括支援センターへの定期的に訪問し、現状を報告しています。 | 地域包括支援センター職員、市担当者などとは、相談したり密に連絡を取り合い、協力関係を築くようにしている。また、利用者処遇や環境整備について、アドバイスを頂くこともある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>玄関には施錠を備え、その他についての拘束については、一切行っていません。</p> | <p>住居が2階であり、利用者の状況や転落防止のため、階段部分にはゲートの設置や特定の出入口のみ施錠している。職員体制や利用者の状況により、家族と相談しながら、やむを得ず拘束する場合がある。同グループ内の研修や外部研修を適宜行っている。今後、現状を把握し、拘束の軽減を図る取り組みを考えている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>高齢者虐待防止の研修等に積極的に参加しており、職員、管理者は虐待の理解をし、疑わしい事があれば、すぐに報告できるような環境を整えています。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>社内研修にて、後見人制度について勉強する機会があるも、積極的に参加が出来ていない状況です。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約前に事前に訪問し、ご利用者様の身体状況、生活状況をお伺いしています。又、その時、利用者や家族の不安や疑問点についてもお伺いしています。契約後の日々の状態の変化については、その都度、ご家族に連絡をしております。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>意見箱を設置し、意見や要望をいつでも聞けるような環境を整えています。又意見等があるときには速やかに対応しております。</p> | <p>毎月の広報誌や、3か月に1回の介護計画を家族へ送付している。年6回のイベントを兼ねた家族会の中で、要望があり、①訪問・面会しやすいように、インターホンの設置。②食事のマナー化を防ぐため、朝食のみ和・洋の選択メニューの実現ができた。今後、ボランティアのオカリナクラブを呼ぶ企画を考えている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員が自発的に代表者、管理者に意見や提案述べる環境を整えています。又個別にて、提案の出来る場を設けています。</p> | <p>年2回、管理者と職員の個人面談により、要望を聴く機会づくりをされている。職員間が話しやすい雰囲気であり、とてもチームワークが良い状況である。利用者のケアについての話し合いが多く、月1回や毎日の申し送りなどで、職員間で情報共有しながら、日々のケアに当たっている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>職員にあった勤務形態を提供し、職場にて過ごしやすい環境づくりを築いています。又定期的に個人面談を行い、職員のやりがい等を聞き、それを今後に生かしております。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>グループホーム内研修、社内研修等に積極的に参加させ、介護レベルの向上に努めています。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>ショートステイ、隣接するグループホームで交流を図り、サービスの向上に努めています。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>入居前から本人様やご家族、病院等と連携を取っており、入所初期には戸惑いや不穏等がある為、その都度対応し、出来るだけ早く施設に慣れて頂ける様に努めています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入所前にご家族と面談し、施設の事を細かに説明し、入所後も細かに電話連絡等を行い、お互いの信頼関係を築いていけるよう努力しております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ケアマネージャー、職員、看護師と相談し、ご利用者が何が今必要かを検討し、他のサービス利用を含めたサービスの提供しております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 出来る事は職員とともに共有し、レクリエーション等もグループホーム内全体で共有し、たくさんの笑顔が見られるように努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | 面会の重要性についてご家族に説明しています。面会に来て頂くことで、現在の状況を把握してもらい、お互い良い関係を築いています。又面会に来られないご家族様については、電話連絡等で状況を説明しております。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 友人等が面会に来られた場合には、ご家族へ確認を取り、談笑してもらっています。 | 毎年、欠かさず年賀状を書いている。美容院や友人、知人など訪問・面会がある。ホーム周辺が散歩コースに適しており、気候が良ければ、散歩や買い物に出掛けている。外へ出掛けることで、利用者の表情が明るくなっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 日中、基本的にはデイルームへ出てきてもらい、ご利用者様同士で談笑してもらっています。又レク等に積極的に参加して頂き、みんなで楽しい時間を過ごしてもらっています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | ふれあい通信、年賀状等を定期的に送り、現在の施設の状態等はお伝えしています。他のサービスの依頼があった場合には、早急に対応しています。 | | |
| い | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 本人様ご家族様と職員全体がコミュニケーションを取る事で、ご意見や要望については、出来る限り実現できるように努力しております。 | 日頃の会話の中に、本人の思いや希望などを聞き取り、担当職員が利用者のケース記録に丁寧に記録整理している。職員間で共有、検討しながら、利用者の希望や思いが反映されるように、連絡ノートなどで情報共有しながら対応している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居された際、今まで使ってきた家電等を使用して頂き、いち早く施設での生活に慣れて頂ける様に配慮しております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 職員等が観察や記録を行い、何かあれば医師、看護師、管理者への報告があり、適切な対応をしております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>月に一度、ユニット事に職員でカンファレンスを行い、ご利用者様にあった介護計画を検討し作成しております。</p> | <p>日々の関わり状況を、ケース記録（個別記録）に丁寧に記録されている。身体機能維持や本人の望むことが実現可能となるように、カンファレンスで、介護計画の実施状況やモニタリングを作成し、現状に即して見直しなどを実施している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>ケース記録にて個別記録をとり、又その日の申し送り等で、各ご利用者様の体調管理等に努め、連絡ノート等で職員間で共有しております。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>ご利用者様に応じてリハビリ、マッサージ等を行い、又往診にて体調管理をはかります。また歯科、眼科、耳鼻科等とも連携を取っております。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>近くの保育園との交流、町内会への参加、各イベントでのボランティアさんとの交流など、地域と密着しながら生活しております。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>現在、主治医より受診が必要と診断された場合には、ご家族様へ通院の付き添いをお願いしています。又、急な受診の場合には、施設で対応しております。</p> | <p>入居時に本人および家族と相談して、かかりつけ医を決めている。急変を除き、定期受診については、家族対応をお願いしている。歯科、眼科、耳鼻科など訪問診療により、適切な医療が受けられる体制を整えている。医療費の支払いや薬などの変更などあれば、家族へ報告されている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>毎日バイタルチェックを行っております。必要に応じて、看護師、医師と連携を取り対応しております。急患の場合には、いつでも看護師と連絡が取れるようにしております。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入退院前には、必ず関係者とのカンファレンス等を行い、ご利用者様が安心して治療できる環境づくりに努めています。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>終末期にあたり、ご家族、看護師、主治医と連携を取っており、ご利用者様についても、グループホームで出来ることを説明し、職員間、看護師、主治医、他の医療機関とも連携をとっています。</p> | <p>看取りの経験を生かし、事業所として「看取りに関する指針」に準じて対応している。状況変化に応じて、かかりつけ医との話し合いを重ねて、家族とも検討を行い、対応方針を決めている。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>急変、緊急時に備えて、看護師、主治医、管理者、職員間でどう対応するかのノウハウはあり、それに基づき対応しています。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>消防署の立会いの下、避難訓練 消火訓練を定期的に行っており、又、職員は防災センターで行われる研修に参加して勉強しています。</p> | <p>同グループの応援体制や水・食料などの備蓄も準備されている。火元を出さない取り組みとして、コンセント周辺の掃除や外部業者または同グループに事業部があり、定期的に電気関係の点検をされている。今後、地域の消防団との合同訓練の企画を考えている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 相手本位の理念に基づき、ご利用者様を尊重するような声かけを行っています。又入浴や排泄時のプライバシーが確保できるように配慮しています。 | 相手本位の理念に基づき、相手の立場で考え、その人に合った言葉掛けとしている。ミーティングや会議で話し合い、意識づけできるようにしている。自尊心を傷つけない言葉掛けとし、プライバシーに十分気をつけた対応をされている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 基本的には本人様のやりたいことをやらせてもらうがレクリエーション、イベントなどがある時には、みんなで集まり、楽しく過ごしてもらっています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 相手本位の理念に基づき対応しています。又拒否等がある場合には無理強いせず、時間をずらして声かけを行い対応しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 月に一度、美容師が散髪 毛染め等を行っています。又男性の方で髭を剃るのが難しい方にはこちらで対応し、女性の方には化粧をしてもらっています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 食事は配食センターより配達してもらっています。朝食に関しては洋食、和食かをご利用者様に選んでいただき、又パンかごはんかも選んで頂いています。 | 毎食、併設の厨房より副食（おかず）のみ、食事提供がある。同グループで、在宅者に向けて宅配事業もされている。適宜、一品料理を作ったり、季節ごとの行事食の提供により、食事が楽しめる工夫や雰囲気づくりをしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | 食事量、水分量は毎回記録しています。又食事、水分摂取が制限されている方には、基準に合わせて摂取して頂いております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後、必ず口腔ケアの誘導、声かけを行っており、ご自分で出来ない方については、職員が介助しております。週に一回、歯科が来訪し口腔ケアを行っております。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 自力で排泄出来る方には、一人で行ってもらいます。出来ない方については、時間を決め職員が誘導し排泄を行っております。 | 自然排便を促す方法として、水分量の摂取、自社でDVDを作成された”ニックス体操”（30分程度の全身体操）を実施している。個々の状況に合わせたトイレ誘導や、ベッド近くにポータブルトイレの設置を行い、座位が可能な方は、トイレに座ることを基本としたケアに取り組んでいる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 排便の有無を記録しています。又数日排便がない方には、下剤などを用いて排泄をうながしています。水分摂取量を記録し、少ない方には声かけ等をして摂取してもらっています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴前に必ず声かけをしてから入浴してもらっています。拒否がある場合には、無理強いせず時間、日にちをずらして入浴してもらっています。 | 清潔保持が必要なため、週2～3回は入浴を行っている。身体機能の状況により、入浴機器（シャワーチェアまたはシャワーキャリー）を選定して、個別対応している。午後から入浴を開始し、ゆっくりと入浴ができるように支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 基本的には寝る時間は、ご本人様に任せておりますが、寝たきりや介助が必要な方には、職員の方で誘導しております。また、夜間パット交換が必要な方には、定期的に訪室しております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬の説明書を作っており、いつでも職員が見られるようにしており又、薬の変更があった場合には、看護師により連絡ノートへ記載してもらい、その都度確認をとっております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | ご利用者様一人ひとりに、その人に合った事をして頂いております。又レクリエーション、イベントには、必ず無理のない範囲で参加して頂き、職員と一緒に楽しんでもらっています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 天気の良い日には、職員と一緒に近隣を散歩しています。又近くの保育園の運動会等にも参加させて頂き、園児との交流もはかっています。 | 高齢化に伴う介護度の進みにより、外出は困難になりつつあるが、気候が良ければ、近所に散歩や保育園の運動会などに出掛けている。来月（平成27年4月）は、お花見会として、平和公園に行く企画を準備している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 現在、個人でお金の管理はしておりませんが、散歩のついでに買い物へ行ったり、生活に必要なものは職員が買ってきています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>毎年、年賀状をご家族にむけて書いてもらっています。電話に関しても、個人電話や携帯から直接かけてもらっています。必要な時には職員がついています。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>毎日、居室、トイレの掃除を行っております。季節によって温度管理、湿度管理を徹底して行っています。季節ごとに造花を変え、手作りのカレンダーも飾っております。</p> | <p>掃除は毎日行い、ホーム内は清潔に保たれている。換気や室温調整を行い、利用者の健康管理に努めている。季節感を取り入れるため、園児からのプレゼントや季節毎の造花、手作りカレンダーを飾っている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>テーブル、ソファを用意し、ご利用者様同士や、職員と話す場合にはテーブルを囲い、一人になられる場合にはソファでゆっくりと過ごして頂いております。又、定期的に席替えも行っております。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>ご利用者様が慣れ親しんだ家具を持ってきてもらい、居心地良く過ごせるように配慮しております。</p> | <p>居室内の、ベッド・車いす・ポータブルトイレ・空調などは、事業所の備品として準備されている。その他、テレビ・家具・馴染みの寝具など、本人が必要とするものは、使い慣れた好みの物を自由に持ち込み、自分の部屋として居心地良く過ごせるよう工夫している。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>居室やトイレは、分かりやすく表示しております。又、判断が難しいご利用者様に対しては、声かけ等で経路を説明しております。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 平成27年4月14日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--------------------------|-------------------------------|--|-------------|
| 1 | 4 | 運営推進会議に行政関係者 各家族の参加率が悪い。 | 各家族 行政関係者と定期的に情報交換を行い参加率を上げる。 | 各家族 行政関係者との定期的な情報交換を行うとともに、町内会へ参加した際、協力を仰ぐ | 次回運営推進会議まで。 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。